

玉村町 文化財通信

2025年2月6日発行

(次号3月発行予定)

第34号



～ちよっとそこまで古探訪～

「玉村の歴史を彩る動植物」Vol.5

今回は毎年2月11日に行われる、「すみつけ祭」(上福島地区)と「樋越神明宮 はるくわまつり 春鋤祭」(樋越412-4)を紹介します。

「すみつけ祭」の起源は江戸時代の元禄年間(1688～1704)といわれています。疫病が流行した当時、武州(埼玉県)騎西(加須市)にある玉敷神社より御神体を借り受け祭りをしたところ、病が終息したことから始まったと伝えられています。さらにこの祭りでは、顔中に墨を付けた大人や子どもが行列となり、地区内の家々をまわり、大根の切口に墨を付けたものをで家の人に塗りつけます。墨を塗り付けられた人はその年一年無病息災で過ごせると言われています。由来については、ある女性が鍋を手に転んでしまい鍋墨が顔にべったりとついてしまいましたが、その女性だけ病にかからなかったからという言い伝えが残されています。

「樋越神明宮 春鋤祭」は樋越の神明宮で行われる、その年の豊作をあらかじめ祝う農耕祭礼です。江戸時代以降に伝えられたといわれています。榊や檜の枝に餅を付け、鋤に見立てたものを持った「鋤持(くわもち)」が拝殿の前でクロヌリ(畔塗り)¹の仕草などをし、祭典長の禰宜(ねぎ)が頃合いを見て「春鋤ヨーシ」と叫ぶと、一同が「イツモ、イツモ、モモヨヨーシ」と唱和します。現在は鋤持がクロヌリの仕草をするだけですが、明治時代のはじめの頃までは行事の中に種まき、田植、草刈り、刈り取りの一連の稲作の所作が含まれ、祭りの最後に拝殿から初穂(稲穂の芯をぬいた稲穂)とゴシモチ(切り餅)を投げることも含めると、この行事の本来の形は稲作りの形であったともいわれています。鋤持が持っていた鋤を持ち帰ることができた家では、その年の作物が豊作になるといわれ、拝殿から投げた初穂や餅を拾った人は無病息災で過ごせるといわれています。

今年も2月11日(祝)に開催されます。ぜひ、無病息災や五穀豊穰の祈願に足を運んでみてはいかがでしょうか。



すみつけ祭
(玉村町重要無形民俗文化財)



春鋤祭
(国指定重要無形民俗文化財)

¹ 畔塗り：田んぼと田んぼの間にある畦を土で塗り固める作業。田んぼの水漏れを防ぐために、田植えの1～2ヶ月前に行われます。

歴史資料館のお宝☆

～玉村町歴史資料館展示資料紹介～

巻ノ十 古代の幹線道路 東山道駅路

はじまつき 土師器坏(砂町遺跡)

東山道駅路は、奈良と東北を結ぶ古代の道路で税・物資の運搬や軍事道路として使用されました。駅路とは官吏のために、約30里(16km)ごとに駅家と呼ばれる施設が設けられたことに由来します。

県内では、牛堀-矢の原ルート(7世紀後半)や国府ルート(8世紀後半)などが確認されています。

玉村町からは牛堀-矢ノ原ルートにあたる道路遺構が現在3遺跡から確認されています。

このうち砂町遺跡(玉村町上福島)は、両側側溝の心々距離9～11mを測り、側溝から7世紀後半のこの土師器坏などが出土しています。

砂町遺跡は、北部公園整備事業に伴って、平成10～11年にかけて発掘されました。公園には砂町遺跡の説明板が建てられています。

古代の道に思いをはせてみませんか!



重田家住宅

～公開・活用にむけて③～

1月から歴史資料館で開催中の「昔の道具展」のサテライト会場として、重田家住宅でも昔の道具を展示しています。1階では昔の遊び、2階では生活道具を中心に展示をしています。歴史資料館と重田家住宅のスタンプラリーも実施していますのでぜひご来館ください。

展示・スタンプラリーは4月6日(日)まで開催しています。開館日にご注意ください。

【通常公開情報】

平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日

10:00～16:00(最終入館は15:30まで)なお、夜間の催事等はその都度対応します。都合により臨時休館あり。



文化財・歴史資料館 情報

3/22
(土)

只見線・福島応援イベント

出張 やないづ張り子工房 Hitarito
in 重田家住宅

時間: 午前11時30分～午後3時

(昼休み12時30分から午後1時30分)

■赤べこ絵付け体験(柳津のお土産付き)

参加費一人3,000円 要予約

【1回目】午前11時30分～1時間程度

【2回目】午後2時～1時間程度

(各回先着6名)

申込み: 2月20日(木)から、文化財係窓口又は電話にて受付(0270-30-6180)

■赤べこ作品展示・販売

赤べこ作品展や展示販売を行います。

事前申込み不要です。

■玉村町地域おこし協力隊の特設コーナー「会津の郷土料理こづゆ」の試食コーナーや震災復興に関連した展示も行います。

【主催者】

やないづ張り子工房 Hitarito(伊藤千晴さん)・
玉村町教育委員会生涯学習課文化財係



参加
無料

歴史講座参加者受付中!

下記日程にて歴史講座を開催します。
申込みは電話または歴史資料館、文化財係事務室までお願いします。

①2/15(土)「群馬県内出土の在産蔵骨器について」(公財)埋蔵文化財調査事業団多田 宏太氏

②3/8(土)「群馬県内からみた玉村町の古墳」
元藤岡市 教育部長 志村 哲氏

③3/15(土)「デジタル化がひらく文化財の可能性-デジタルアーカイブ活用を軸に-」

群馬県立女子大学准教授 鈴木 親彦氏

時間: 午前10時～11時30分

場所: 玉村町文化センター小ホール

2/15
(土)

玉村學第4回

学校建築における嚮義堂の価値
嚮義堂②

時間: 午後1時30分～3時

場所: 講義 上樋越公民館(樋越782-1)

現地見学 嚮義堂(樋越486-1)

講師: 村田 敬一氏

内容: 講義ののち、現地にて見学会を開催

参加無料 申込み不要です。

■記念に、嚮義堂の古い瓦をお持ち帰りいただけます。(数に限りあり)

玉村町地域おこし協力隊員レポート ⑬

1月8日(水)、中央小学校3年生の総合的な学習の時間の一環として「たくさんの“いいね!”がある玉村町の食」と題して講演をさせていただきました。地域おこし協力隊として感じた玉村町の良い所や普段住んでいけば気付けない他市町村との違いなど、玉村町全体を見た「食」の素晴らしさをお伝え出来たかなと思います。

3年生のみんなも興味を持って参加してくれ、たくさん質問をしてくれました。更に玉村町を好きになる機会になったら嬉しいです。今後も小学生との交流を増やせればと思います♪



2/26
(水)

みんなで歌おう

うたごえ古民家 in 重田家住宅

時間: 午前10時～11時

場所: 重田家住宅(小泉42)

内容: 童謡から歌謡曲まで、なつかしの歌を歌います。重田家住宅にある約100年前のピアノに合わせてみんなで歌いましょう。簡単なストレッチや脳トレも行います。

地域おこし協力隊特製のプチお菓子をプレゼントします。

参加無料 申込み不要です。

主催: 玉村町地域包括支援センターにしきの園・
重田家住宅健康部

☆ 発行 ☆

玉村町教育委員会生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館(電話)0270-30-6180

☎370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島325番地 玉村町文化センター内

